

2023年度の出題傾向と分析

英語

解答形式 ▶ マーク

問題の全体難易度 ★★★★★ やや難

前年との難易度比較 ↑ やや難化

時間に対する分量

多い

大問	分野	長文の種類 単語数	内容	出題形式	難易度
1	読解	医療系 約950語	「失読症が起こる原因の見直し」についての長文問題 (内容一致・同意表現選択・同意語選択・欠文補充)	選択	★★★★☆
2	読解	社会科学系 約850語	「宇宙へのエレベーター」についての長文問題(空所補充)	選択	★★★★☆
3	読解	人文科学系 約900語	「子ども時代の健忘症」についての長文問題(内容一致・同意語選択・欠文補充)	選択	★★★★☆
4	文法	—	誤り指摘	選択	★★★★☆
5	読解	科学伝記系 約1,000語	「生物学に影響を与えた物理学者」(同意表現選択・内容一致・同意語選択・欠文補充)	選択	★★★★☆
6	英作文	—	適文選択	選択	★★★★☆

長文4題に、誤り指摘、適文選択は22年度と同じ構成。4題の長文のうち1題は空所補充のみ。その他の3題は段落ごとの内容一致、同意語・同意表現選択、欠文補充が出題される。長文の内容は比較的読みやすく、設問も標準的だ。しかし、誤り指摘と適文選択は、特に文法が重

視されていないカリキュラムで学習した受験生にはやや難しいだろう。対策としては、読解演習の際には段落を要約し、内容一致問題では本学の過去問を利用して選択肢の吟味の仕方を身につける。最後に時間内に解答できるようにすることを意識して過去問演習に取り組もう。

数学

解答形式 ▶ マーク

問題の全体難易度 ★★★★★ 易

前年との難易度比較 → 変化なし

時間に対する分量

適量

小問	分野	内容	出題形式	難易度
1	確率	A 選択問題を正解する確率	空所補充	★★★★☆
2	指数関数・対数関数	II 方程式	空所補充	★★★★☆
3	空間ベクトル	B 平面上の点、直線と平面の直交条件	空所補充	★★★★☆
4	図形と計量	I 外接円の半径、角の二等分線の長さ	空所補充	★★★★☆
5	整数の性質	A 1次不定方程式	空所補充	★★★★☆
6	複素数平面	III 分点の比	空所補充	★★★★☆
7	積分法の応用	III 区分求積法	空所補充	★★★★☆
8	データの分析	I 共分散、分散の値域	空所補充	★★★★☆
9	積分法の応用	III 立体と平面が共有点をもつ条件、体積	空所補充	★★★★☆
10	微分法の応用	III 対数微分法	空所補充	★★★★☆

小問が10問並ぶ出題。標準的な問題が中心で高得点が必要となる。データの分析を含め幅広い単元から出題されているため、苦手な単元があると致命的。典型解法の習得および迅速かつ正確な計算力が必須となる。21年度は

新型コロナウイルス感染拡大の影響により数学Ⅲの微分法・積分法からの出題が1題のみだったが、22年度は5題、23年度は4題が数学Ⅲからの出題だった。過去問を用いて時間配分も意識して練習しておくとういだろう。

化学

解答形式 ▶ マーク

問題の全体難易度 ★★★★★ 標準

前年との難易度比較 → 変化なし

時間に対する分量

適量

大問	分野	内容	出題形式	難易度
1	小問集合5問	多原子イオンの構造、原子半径、イオン化エネルギー、硫黄の性質、芳香族の酸強度、塩化水素の生成熱	選択	★★★★☆
2	理論	(A) 中和滴定、水酸化ナトリウムの物質質量、溶液の調製、リン酸の物質質量 (B) 反応速度、反応次数、反応速度定数	選択	★★★★☆
3	有機	(A) シクロアルカン立体異性体数、マルコフニコフ則、酸化開裂 (B) α-アミノ酸構造、官能基、等電点	選択	★★★★☆

大問3題。22年度と同様、大問1が小問5問。大問2・3が異なる2分野からなる全25問の構成だった。前問の解を用いる連動タイプの問題があるため、細心の注意が必要だ。立体異性体の数え方、臭化水素の付加反応、アル

ケンの構造決定に関する長めの問題文だったが、合格者はおそらく把握できただろうと思われる内容だった。小問集合を素早く仕上げた上で、残りの各大問を20分程度で解けるようにしておこう。